

令和6年

第1回教育委員会定例会会議録

令和6年1月11日

水戸市教育委員会

令和6年第1回教育委員会定例会

1 開催日時 令和6年1月11日(木) 午後4時56分 開会  
午後5時22分 閉会

2 開催場所 水戸市役所 3階 教育委員会室

3 出席者 教育長 志 田 晴 美  
委員 富 田 教 代 (教育長職務代理者)  
委員 篠 崎 和 則  
委員 丸 山 陽 子  
委員 内 田 和 子

4 欠席者 なし

5 説明のため出席した職員の職, 氏名

教育部長	三 宅 修
総合教育研究所長	瀧 健 一
参事兼教育企画課長	菊 池 浩 康
技監兼学校施設課長	和 田 英 嗣
参事兼歴史文化財課長	小 川 邦 明
参事兼中央図書館長	林 栄 一
学校管理課長	山 田 規 生
学校保健給食課長	相 沢 秀 幸
生涯学習課長	湯 澤 康 一
教育研究課長	安 田 理 恵

6 傍聴人 なし

7 本日の日程

(1) 報 告

① 令和5年第4回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について【公開】

(2) 議 案

議案第1号 水戸市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱又は任命について【非公開】

(3) その他

① 特別展「江戸氏 ―知られざる水戸の戦国時代―」の開催について【公開】

## 8 会議の概要

午後4時56分 開会

○志田教育長 新年、あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

ただいまから、令和6年第1回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、非公開とする案件についてお諮りいたします。

本日の案件のうち、議案第1号につきましては、非公開の取り扱いといたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

次に、本日の案件のうち、議案第1号 水戸市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱又は任命についてでございますが、当該協議会の構成委員として、私のほか、本日出席しております職員のうち2名が含まれていることから、当該議案の審議及び採決にあたりましては、審議の公正を期するため、退席をさせていただきます。

その際の進行につきましては、教育長職務代理者である富田委員にお願いしたいと思っておりますので、御了承願います。

それでは、これより報告を行います。

報告(1) 令和5年第4回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、説明願います。

三宅教育部長。

○三宅教育部長 それでは、資料の1ページをお開き願います。

報告(1) 令和5年第4回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、御説明いたします。

初めに、1の会期でございますが、12月4日から19日までの16日間でございます。

2の本会議の状況につきましては、5会派5議員から発言通告がございました。

質問及び答弁内容につきましては、学校教育部門では、コミュニティスクールについての質問や学校図書館について、放課後学級と学校との連携についてなど14項目17件、社会教育部門では、地域学校協働活動の取組状況についての質問、1項目1件でございます。

主なものについて御説明させていただきます。

初めに、2ページを御覧願います。

不登校支援についての御質問に対しましては、令和4年度の水戸市立小中学校の不登校児童生徒数が815人と過去最多となり、令和3年度より195人増加、増加率は31.5%であり、これまでチーム学校による支援として、県から配置されるスクールカウンセラーと連携を図りながら、児童生徒一人一人に寄り添った支援を行うとともに、スクールソーシャルワーカーを、県からの派遣に加え、令和4年度から本市独自に1名を配置し、不登校の要因が家庭環境であるなど、これまで支援の手が届きにくかった児童生徒に対して家庭訪問や登校支援を行っていること、また、多様な学びの場を確保するため、今年度から千波中学校において、校内フリースクールを開設したところであり、在籍学級での生活に不安をもっている生徒が、安心して自分に合ったペースで学習を進めたり、生活のリズムを作ったりするなど、生徒が不安なく生活できる居場所としての役目を果たしているとともに、継続的に本人が保護者や教員の支援を受けながら、努力して登校し、在籍学級の授業に参加することができるようになった事例も見られることから、学校の状況に応じ、校内フリースクールをはじめとする多様な学びの場の提供を市内全中学校に拡充し、教員免許を有する支援員を配置

し、さらに、本市独自の施策として、既に配置したスクールソーシャルワーカーを増員するとともに、新たにスクールカウンセラーを配置してまいりたいと考えていることなどについて答弁をしております。

次に、7ページをお開き願います。

GIGAスクールについての御質問に対しましては、本市では、令和3年5月から、1人1台タブレット端末の運用を開始し、各教科の授業において、デジタルドリルを活用した練習問題に取り組むなど、端末の活用を日常的に行っており、委員会活動や部活動、家庭学習など、様々な場面においても端末を積極的に活用するとともに、1人1台端末を活用した「心の健康観察」を、本年度から、一部の学校において活用を開始しておりますが、児童生徒一人一人に寄り添い、いじめや不登校の未然防止に寄与することから、この取組を市内全校に拡充したいと考えていること、また、本市における授業日における端末の稼働率は90%を超えている状況にあり、年度ごとに教員のICT活用能力目標を定め、段階的に身につけられるよう、民間企業から講師を招いて研修を実施するとともに、ICT支援員等による校内研修などにより、その向上を図ってきた一方で、学校間や教員間においてICTを活用した授業力に差があることから、指導主事が各学校を訪問し、実際に授業を見て、具体的な授業の進め方やICT機器の効果的な活用方法について指導し、授業力の向上に努めていること、さらに、端末本体の故障率が年々高くなっており、バッテリー等の経年劣化が課題となっておりますが、11月に国会において成立した令和5年度補正予算において、端末更新に係る補助金についても明記されたことから、この補助金等を活用しながら、適切な時期に端末を更新してまいりたいと考えていることなどについて答弁をしております。

続きまして、9ページの、飯富小学校・中学校の整備についての御質問に対しましては、飯富小学校・中学校は、大半の建物が建設後40年以上が経過していることから、早急な老朽化対策が必要であると認識しており、令和3年度から令和4年度にかけて、基本構想委託として、教育活動や児童生徒の動線等、効果的な建物の配置や教室配置などについて、技術的な検討を行い、今年度は耐力度調査委託として、建物の老朽化等の状況を確認し、その調査結果を踏まえ、本事業に係る国庫補助金の活用について精査するところであり、第7次総合計画に位置づけ、概ね前期計画5年内での整備着手を目指していくこと、今後は本市における小中一貫教育の取組や効果を検証しながら、学校、保護者、地域、関係機関との協議を深めたうえで、飯富小学校・中学校の特性を踏まえ、よりよい教育提供体制が整うよう、施設建築や教育制度の在り方について検討していくことなどについて答弁しております。

続きまして、11ページ、小学校の給食費無償化についての御質問に対しましては、今年度から、教育費や食費など、特に子育てに係る費用負担の大きい中学生のいる世帯を対象に、市立中学校における給食費を完全無償化し、市立小学校の給食費についても、物価上昇等の影響により、今年度は、本来であれば児童1人当たり月額約5,500円の負担をいただく必要があるところ、学校給食費支援事業の実施により、保護者の負担を増やすことなく、これまでと同額の4,300円を維持していること、小学校給食費の無償化については、徹底した行財政改革や限られた財源の配分をこども・子育て施策に大きくシフトさせる歳出構造改革を強力に進めながら、令和6年度から小学校の給食費の負担軽減を段階的に拡充していき、市長の今任期中に完全無償化を実現していくことなどについて答弁しております。

その他、詳細につきましては、後ほどお目通しいただきたいと思っております。

説明は、以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

内田委員。

○内田委員 2点、お伺いしたいと思っております。

1点目は、不登校に対する支援ということで、校内フリースクールについて、ここでは多様な学びの場を確保するというところで、市内全中学校に拡充していくということ。それから、教員免許を有する支援員を配置していくということが述べられているわけなのですが、今後の見通しとして、どのように拡充をしていくのか。そして、何名くらいの支援員をどのように配置していく予定なのかということをお伺いしたいと思っております。

もう1点は、ICTについてです。GIGAスクール構想ということで、各学校でかなり活用が進んでいるということがうかがわれるのですが、それに伴って、活用をすればするほど、機械が傷んでいくということもあり、今後、補助金等を活用しながら、適切な時期に端末を更新していきたいということなのですが、今までですと、コンピュータールームのパソコンは5年くらいごとに交換していたと思いますが、それとは比べものにならないぐらいに経年劣化も激しいのではないかと思います。そういった端末の交換を考えていらっしゃるのかも教えていただければと思います。

○志田教育長 安田教育研究課長。

○安田教育研究課長 校内フリースクールについてなのですが、今回、全中学校に拡充していくということで答弁させていただいているのですが、まず国の補助金を活用しながら、来年度、どの学校でも何かしらの形で場所を設けて、そこで子どもが学べるよう、検討を進めているところでございます。

併せまして、支援員の配置につきましては、国の補助金を活用する形で予算を要求しているところなのですが、今回、県から補助金の活用のお話がございます。本来であれば、国で3分の1、残り3分の2は県の財源となるのですが、県から、2分の1を市町村で負担するような形の補助制度が示されておりまして、予算の内示を待っている状況でございます。

また、ICTについてですが、端末の更新につきましては、内田委員からありましたように、コンピューター室のものは5年で更新していたところですが、今回の端末の更新についても、5年ペースで、バッテリーの劣化などがございますので、令和7年度、令和8年度ぐらいにかけて、国の補助金を活用しながら、庁内合議を図った上で、適切な時期に更新をしていきたいと思っております。

○志田教育長 校内フリースクールは、予算がついても、免許を持っている支援員が必要なんでしょう。

安田教育研究課長。

○安田教育研究課長 そうです。

○志田教育長 篠崎委員。

○篠崎委員 給食費の無償化についてですが、無償化自体は大変結構なことかとは思いますが、現状は、小学生については有料なわけで、結構滞納している家庭があって困っていると聞いたこともあるのですが、それがどんな状況かということと、無償化が見込まれることによって、いずれただになるものかもしれません。払う気をなくす人がいると、きちんと払っている家庭との間で非常に不公平なことになると思うので、そのあたりのお考えをお聞かせいただければと思います。

○志田教育長 相沢学校保健給食課長。

○相沢学校保健給食課長 今年度から中学校は無償化されたのですが、昨年度までは給食費を徴収していたという状況でございまして、小学校・中学校を合わせての給食費の滞納というのは、令和4年度末の合計で2,000万円を超えるというような状況でございます。

ただ、全体額でいけば10億円近い金額になりますので、そのうちの98%程度は納めていただいている状況ではあるのですが、滞納があるというのは事実でございます。

その額についても、令和5年度に入ってから、1,000万円程度は収納されていて、今は収入未済額が約1,000万円ぐらいの状況になっております。

こちらの滞納について、今後どうしていくかというところで、公平性の観点からも収納対策をしていく必要はあると思っております。

現在も、児童手当の申出徴収を行っていきまして、実際、昨年度の滞納額のうち、1,000万円近い金額が、今年度、児童手当からの申出徴収で収納しているという状況でございます。

そのほか、催告や警告という形で書面を送って、納入を促しているという状況でございます。

また、現時点で、他課の例ではあるのですが、収納について弁護士に委託をするというようなことを行っておりまして、全庁的にも検討することになっております。

○志田教育長 富田委員。

○富田委員 8ページなのですが、文部科学省のCOCOLOプランということで、1人1台端末を活用して、心の健康観察を一部の学校において開始しておりますとあるのですが、もし差し支えなければ、どのぐらいの学校で実施しているのかということをお聞きしたいと思います。

○志田教育長 安田教育研究課長。

○安田教育研究課長 こちらにつきましては、今年度、モデル的に、新荘小学校と笠原中学校の小中学校1校ずつの合計2校で実施しているところでございます。

○志田教育長 ほかにございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、この件について、終わります。

〔志田教育長・瀧所長・湯澤課長退室〕

○富田教育長職務代理者 教育長と交代しました。

次に、議事に入ります。

【議案第1号 水戸市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱又は任命について：非公開】

○富田教育長職務代理者 これをもちまして、進行を教育長と交代いたします。

〔志田教育長・瀧所長・湯澤課長入室〕

○志田教育長 次に、その他に移ります。

その他(1) 特別展「江戸氏 ー知られざる水戸の戦国時代ー」の開催について、説明願います。

小川参事兼歴史文化財課長。

○小川参事兼歴史文化財課長 それでは、その他(1) 特別展「江戸氏 ー知られざる水戸の戦国時代ー」の開催について御説明いたします。

資料29ページを御覧願います。

1の概要についてでございますが、1430年代に水戸城に入った江戸氏は、佐竹氏に滅ぼされるまでの160年間近くにとわり、水戸の地を拠点としていました。

しかしながら、水戸徳川家の時代に比べ、江戸氏時代の水戸を明らかにする資料は少なく、戦国時代の水戸がどのような姿であったのか、よく分かっておりません。

そこで、本展覧会では、戦国時代の水戸及び周辺地域で重要な役割を果たした江戸氏の姿を、地域に残された資料から明らかにし、戦国時代の水戸の様相を広く知っていただく内容としております。

2の会期は、令和6年2月3日土曜日から3月10日日曜日まで、月曜日及び2月13日は休館、2月12日月曜日は祝日のため開館いたします。

3の会場は、水戸市立博物館、4の主な展示資料といたしましては、別添のチラシの裏面を御覧いただきたいと思っております。

赤地に白丸で抜かれた旗、「戦旗」や、右上に記載がございます「弘法大師行状図画」などがございます。

5の入場料は、一般200円、18歳以下、65歳以上は無料、その他各種無料や割引きの措置もございます。

6の主な関連行事といたしましては、中世の戦国史の専門の講師を招いた特別講演会などを開催してまいります。

詳細は、チラシを御参照いただきたいと思っております。

説明は、以上でございます。

**○志田教育長** 委員より御質問等がございましたら、発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○志田教育長** ないようでございますので、この件について、終わります。

以上をもちまして、本日の案件につきましては、全て終了いたしました。

その他、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○志田教育長** ないようでございますので、それでは、以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。

御苦勞様でした。

午後5時22分 閉会

## 9 議決事項

議案第1号について原案可決